



イクボスアワード 2016 受賞者の紹介

【グランプリ受賞】

(五十音順)

青森県警察

(業種：公務)

ひろさき

弘前警察署長

さいとう

しげみつ

齊藤 重光 氏

- ◆ 男性職員が育児休業を取得しやすいよう働きかけ、県警初の育児休業取得を実現。2016年7月には県警全署長等がイクボス宣言を実施
- ◆ 月一休暇や、職員・家族の誕生日等の記念日における休暇を取得するよう積極的に働きかけ。配偶者出産休暇・育児参加休暇を取得しやすいよう、父親となる職員を署長室に呼び、共に休暇計画書を作成
- ◆ 幹部会議は1時間から30分に短縮し、ノンペーパーに。簡易な報告はメール可
- ◆ 自ら月一休暇を確実に取得。ノー残業デーには率先して定時退庁を実施

戸田建設株式会社

(業種：建設業)

東京支店 建築工事1部工事課 工事長

もりた

まこと

森田 誠 氏

- ◆ 保育園の送迎に配慮した打合せ時間の設定、iPad活用による情報共有・業務の見える化促進など、育児期間中の社員の両立に配慮
- ◆ 3か月先までの休日を職場全員で見える化し共有。休暇が取得しやすい雰囲気醸成
- ◆ イクボスが動画を作成し、月1回定期的に上映会を開催することで、上司部下の距離感を縮め、風通しの良い職場を実現
- ◆ 自ら率先して早めの帰宅を意識し、家族との交流時間が増加

P & G ジャパン株式会社

(業種：製造業)

経営管理本部 アソシエイトディレクター

わしだ

じゅんいち

鷺田 淳一 氏

- ◆ 時間の制限付きで働かなければならない部下を含めた全員が活躍できるよう、組織の業務の優先順位と、部下の仕事への期待値を明確にし、事前に合意。効率よく結果が出せるよう全面的にサポート
- ◆ 業務効率を上げるため、業務関連のメールは1日以内に原則返信
- ◆ 2週間に1回、部下との個人面談を実施。一人ひとりと向き合い、キャリアや強みに応じた業務配分を実施
- ◆ 毎日定時出退社をし、子どもを幼稚園に送迎。自身の仕事と生活の充実の方法はロールモデルとして社外で広く紹介

【特別奨励賞受賞】

(五十音順)

株式会社セプテーニ

(業種：サービス業)

オペレーション本部 シニアディレクター

いのうえ しょうこ
井上 祥子 氏

- ◆ 自らが育児中社員のロールモデルとして、産休→育休→時短復帰→フルタイム転換→昇格とキャリアを進化。育児休業中の女性社員を自主的にネットワーク化、相談にアドバイス
- ◆ 他部署と自部署の業務を可視化する「キャパシティカレンダー」を作成。業務の可視と棚卸しを行い、業務圧縮等の業務効率改善を実現

日本オーチス・エレベータ株式会社

(業種：製造業)

東日本支社 神奈川支店 横浜営業所 所長

ひびの ひさみ
日比野 寿実 氏

- ◆ 営業所内でワークライフバランス委員会を設立。全員が休暇取得の年間計画を立て、原則、取得理由を明確にし、所内に掲示することで積極的な休暇取得を促進
- ◆ 自身も、幼稚園の「パパ会」に所属、自ら進んで休暇を取得するなど、休暇を取得しやすい雰囲気醸成

株式会社 J S O L

(業種：情報通信業)

流通・サービスビジネス事業部 チームマネジャー

みお こうじ
三尾 幸司 氏

- ◆ 育児など部下のプライベートを把握するため、月1回面談を実施。働きやすい環境を構築
- ◆ 事業部全体の働き方改革の推進リーダーとして、会議資料は進捗の2割程度の段階で確認し手戻りをなくす、会議時間は原則30分にするなど施策を強力に推進

コネクシオ株式会社

(業種：情報通信業)

常務執行役員 コンシューマ・マーケティング部門長

もりした だいじろう
森下 大二郎 氏

- ◆ 社内で初めて短時間勤務の女性ショップ店長を任命し、本人への動機付けに加え取引先へも短時間勤務の理解を求め、上司として支援を積極的に実施
- ◆ 「見直そう仕事時間、見つめよう自分時間」を合言葉に、女性だけでなく子どもが生まれた男性社員にも育児休業の取得を推奨し、部下の仕事と育児の両立を推進